

災害支援・教育復興にむけて

つなぐ



日教組災害対策本部

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

連合とともに、「被災地支援ボランティア」はじまる ～結団式・出発式～



第1次派遣団メンバー 日本教職員組合本部にて

連合の「被災地支援ボランティア」が3月31日からはじまりました。

日教組もこのボランティアに組織をあげて参加し、被災地の支援・復興にむけとりくんでいきます。派遣場所は、岩手県（釜石・大船渡・陸前高田）と宮城県（気仙沼）です。岩手県のボランティアは移動を含めて10日、宮城県は18日の期間で活動します。

3月30日 18時 結団式

結団式のはじめに中村中央執行委員長から、「急な要請にお応えいただき、全国から21名にご参集いただき、本当にありがとうございます。2次災害なども心配されますので、現地で活動されるときに、あまり無理をなさらないでいただきたいと思います。第1陣ですので実際に活動をしてみて『わかること』『気づかなかったこと』があると思います。そのような情報を第2次・3次につなげていきたいと思います。よろしくお願いします。」とあいさつがありました。

第1次派遣団団長を務める高橋中央執行副委員長からは、「私たちは、被災地のみなさんの様々な救援、あるいは復旧・復興にむけた救援活動をしていきます。安全かつ円滑なボランティア活動に従事していきたい。また、被災地のみなさんには、何が本当に必要なかチームで考えながら、協力して目的を達成していきたいと思います。私たちは『つなぐ』ということをテーマにして



【高橋第1次派遣団 団長】

います。『つなぐ』を心にもちながら『明日への希望へつなぐ』『被災地の状況を全国のなかまにつなぐ』『第2次派遣団に私たちの活動をつなぐ』など様々なつなぎかたがあると思います。それぞれの立場で連帯をし、とりくんでいきましょう。」とあいさつがありました。



【決意表明する田中さん】

ブロック代表の田中一史さん（新潟県教組 書記次長）から「新潟県も地震で被災したときに、各単組からご支援いただきました。私たち教職員も、いただいたご恩に報いなければいけないという思いが大変強いです。災害が発生した当初から、新潟県教組としてボランティアをやらないのかという声が多くありました。今回このような連合を中心としたボランティアが行われ、まず私が参加をさせていただいて、現地の様子を見て、新潟県の教職員に伝え、これらの活動がつながっていけばいいと思っています。どれだけ力になれるかはわかりませんが、みなさん力を合わせてがんばっていきましょう。」と力強い決意表明がありました。

新潟県中越地震での災害ボランティア派遣の際の情報が下記のアドレスでご覧いただけます。
http://www.jtu-net.or.jp/social_niigata.html

3月31日 午前8時45分 出発式

出発式では、内閣総理大臣補佐官・災害ボランティア活動担当の辻元清美議員から、連合派遣団への感謝と激励のあいさつがありました。

第一次派遣団は、午前9時現地にむけて出発しました。

